

博多「場」文化通信

博多ば日記

2014.Winter No.4

発行：博多リバレイ
発行日：平成26年12月5日

HAKATA esprit

商い。その、エスプリ。



博多リバレイ
HAKATA RIVERAIN
15th Anniversary

商い。その、エスプリ。

商人のまち、博多。旧きも新しきも、「今」をときめかせる商いのエスプリが、そこかしこに息づいているまち。ここに、時代を超えて今を生き抜く新しい博多観を追いかけてみたい。

この店のシェフは、
旧を新に調理する
名人でもあった。

ナプキンリングに記された中魚町(なかうま)のおまらの文字。それは「バルバビアンカ」が佇む場所の旧町名だ。デザインはかつて実際に博多祇園山笠で身にまとっていた久留米緋の法被を模している。「バルバビアンカ」を営むオーナー・シェフの大久保シェフが、博多らしさ、中魚町らしさのために何かできることを、と始めた「手間暇」のひとつである。

もともと呉服町近辺の路地の辯かで落ち着いた空気感を好んでいた大久保さん。自分の店をオープンさせる時はぜひこのまちでと、空いている博多町家を探し、紹介してもらった。約110年の歴史をたたえる町家ゆえ、不便なところも多々あるが、それでも「ここで」と引き寄せられる魅力の方が大きかったという。

当時、あかり取りの役割も果たしていた中庭にはオリーフの木の鉢を置き、井戸と共に残した。土間の上にあった吹き抜けもそのまま。また2階の窓を覆っていた格子はワインセラーの棚の扉に、電線を巻きつけていた磚子(がいし)はピクスタンドに役割を変え、今も現役で頑張っている。旧を新の視点で調理し、「今」に活かす。この店のあちこちに、そんなアクセントがごく自然に存在している。



A 6,000円のコース(夜)の一部「イチジクと山羊のミルク アンティパスト」。
B こちらもコースの一部「コウカイワナシ!? アフォーラのカルパッチョ」。泡状にした梨に甲貝の海の香り、オレンジの酸味、貝割れ大根のほろ苦さなどが重なり、コンチェルトを奏でる。

*コースの内容は季節によって異なります。



バルバビアンカ
中魚町 Barba Bianca

福岡市博多区上呉服町2-116
☎092-283-3330
営業時間 / 11:30~13:30、18:00~24:00
休 / 日曜

C 町家だけに店の中は「うなぎの寝床」で奥ゆきがある。その裏も奥のワインセラーに110年前の格子がある。
D かつて電線を巻き付けていた磚子(がいし)を活かす。

【旨店楽印】

カラダと心が喜ぶ
しあわせの時間。

開放感あふれるカウンター
の奥に、今年10月、全48の客
席を持つカフェがオープンし
た。その広さと同じように、
九州や全国の産地直送の野菜
がたっぷり摂れるランチ、有
機栽培のコーヒーや紅茶、季
節の果物や木の実がごろごろ
入ったスイーツ、冬でも
食べたい新鮮なジェラート
…。これだけ揃えば、どんな
場面にも活用OK！連日、ご
家族連れからおひとりさまま
で、多くの方で賑わっている。
特筆すべきは、中央区平尾の
人気タルト専門店「しのわ」
がプロデュースしているこ



本店と同じく、テイクアウトのタルトやケーキ、焼き菓子も充実。おもたせやプレゼントにぴったりの詰め合わせ(2,700円〜)もあり。

モノ語り

木のぬくもりで、
暮らしを楽しむ。

すてきなインテリアがわが
家によって来る幸せを想像す
るのは楽しい。大切な人が笑
顔になる贈りものを探すの
は、もっと楽しい。そんな妄
想をめぐらせ、つい長居して
しまうのが、大川市の広松木
工株式会社がプロデュースす
るココだ。使うほどに良さが
分かる」という天然木材を
使った家具やギフト小物を中
心に、玩具や帆布を使ったア
イテムまで、350点以上の
商品が並ぶ。引越しやお祝
いをきっかけに、普段使いの
モノを探しに立ち寄られる方
も多いです」と微笑むのは、店



世界各国の天然木材を使い、自然オイルで仕上げる商品。シンプルで機能的なデザインと木の色、香り、ぬくもりが見事にマッチ。



FACTORY SHOP HIROMATSU
ファクトリーショップ ヒロマツ

福岡市博多区下川端町3-1
博多リパレイン イニミニマニモ2F
☎ 092-409-1752
営業時間/10:30~19:30
休/博多リパレイン店休日に準じる

*ワークショップの詳細はHPにて



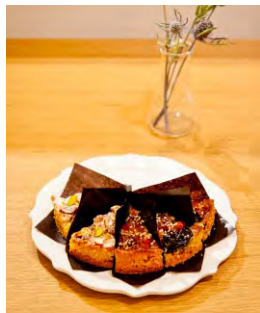
長の荒川さん。ご自宅にお届
けしてからが本当のお付き合
い。と、普段のお手入れ方法も
丁寧にレクチャーして、ケア用
のグッズも揃える。実際に、み
て、ふれて、木のぬくもりや
質感を確かめてほしい。そ
んな想いから開催するワー
クショップも好評だ。長くいい
ものを使うことで、暮らしの
リズムが変わる幸せを、この
冬、日常に取り入れてみよう。

cyaya shinowa
茶家しのわ

福岡市博多区下川端町3-1
博多リパレイン イニミニマニモB2F
☎ 092-260-9662
営業時間/10:30~19:30
(ランチ11:00~15:00/14:30L.O.)
休/博多リパレイン店休日に準じる
<http://shinowa>



と！オーナー・川原さんの「素
材にこだわって、安心」と「おい
しい」を追求する姿勢は健在
だ。玄米は一日寝かせてモチツ
とした食感に、サラダは豆腐
と果物のドレッシングでより
ヘルシーに、と随所に光るセ
ンスと心遣いに、思わず笑顔
がこぼれてしまう。「忙しい日
常で、はっとくつろぐ時間を」
というしのわのおもてなし
を、ぜひ楽しんでほしい。



(右)木の子とヒコボシのとろろ芋グラタン(950円)。ランチは他に一汁旬菜膳(1,100円)、煮込み野菜の無水カレー(880円)など全6種類。
(左)林檎、いちじく、チェリーなど、季節のおいしさがギュッとつまった人気のタルト。シンプルで深い味わいには、男性ファンも多い。

(右)人気のキッズラビットチェア(21,600円/7色展開)。可愛いフォルムに加えて、大人でも座れる丈夫な設計と優しい手触りが特徴。
(左)ゆったりとした空気が流れる店内。平日は、仕事帰りに訪れる方も多いのだとか。自宅に置いた時をイメージしやすい展示も好評。



冬の博多は「祝い場」

博多の新年の運試し

「十日恵比須」



写真提供：福岡市

福の神・えびす様を祭って商売繁盛を願う「十日恵比須」は全国各地で行われていますが、博多では事代主大神を祀る十日恵比須神社の正月大祭として、8日の「初えびす」から11日の「残りえびす」

まで4日間、盛大に開催。境内には博多商人はもとより、家内安全を願う一般の参拝客も行き合ひ長蛇の列ができるほど。拜殿横では運試しの福引が行われ、「大当たりく！」と威勢の良い掛け声が響き、福笹とともに福寄せや福起こし、福俵などの縁起物などが当たります。

9日には、徒歩詣りにて博多券番の芸妓衆が参拝し、艶やかな姿を披露します。

十日恵比須神社正月大祭
1月8日(木)～11日(日)

博多リバレイ
Hakata Riverain

博多リバレイは開業15周年を迎えました！

<http://www.riverain.co.jp>



福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

☎ 092-263-1100

福岡市博多区下川端町3-1
リバレイセンタービル7・8F
<http://faam.city.fukuoka.lg.jp>



博多座

☎ 092-263-5858

福岡市博多区下川端町2-1
<http://www.hakataza.co.jp>



Hotel Okura
FUKUOKA

☎ 092-262-1111

福岡市博多区下川端町3-2
<http://www.fuk.hotelokura.co.jp>



博多リバレイ
eeny meeny miny mo

☎ 092-271-5050

福岡市博多区下川端町3-1
<http://www.em3.jp>



博多リバレイ通り
商店街

福岡市博多区下川端町
<http://www.riverain.co.jp>



撮影：渡邊肇

博多座で毎年12月の恒例となった「文楽」は、ユネスコ無形文化遺産にも認定される日本の伝統芸能。太夫・三味線・人形遣いの三業が一体となって表現される舞台は「一度観るとその魅力に取り憑かれる」といいます。今回は、能楽でも特別な格式をもつ「翁」を人形浄瑠璃に受け継いだ祝儀曲「寿式三番叟」、三大名作の一つ「義経千本桜」など、みどころも多彩な3演目が上演されます。

歌舞伎、文楽、北島ファイナル!

博多座で毎年12月の恒例となった「文楽」は、ユネスコ無形文化遺産にも認定される日本の伝統芸能。太夫・三味線・人形遣いの三業が一体となって表現される舞台は「一度観るとその魅力に取り憑かれる」といいます。今回は、能楽でも特別な格式をもつ「翁」を人形浄瑠璃に受け継いだ祝儀曲「寿式三番叟」、三大名作の一つ「義経千本桜」など、みどころも多彩な3演目が上演されます。

博多座で毎年12月の恒例となった「文楽」は、ユネスコ無形文化遺産にも認定される日本の伝統芸能。太夫・三味線・人形遣いの三業が一体となって表現される舞台は「一度観るとその魅力に取り憑かれる」といいます。今回は、能楽でも特別な格式をもつ「翁」を人形浄瑠璃に受け継いだ祝儀曲「寿式三番叟」、三大名作の一つ「義経千本桜」など、みどころも多彩な3演目が上演されます。

○場所＝博多座
○休館日＝公演により異なる
○問＝☎092・263・5555 (10時～18時)
<http://www.hakataza.co.jp/>



撮影：永石勝

博多座で毎年12月の恒例となった「文楽」は、ユネスコ無形文化遺産にも認定される日本の伝統芸能。太夫・三味線・人形遣いの三業が一体となって表現される舞台は「一度観るとその魅力に取り憑かれる」といいます。今回は、能楽でも特別な格式をもつ「翁」を人形浄瑠璃に受け継いだ祝儀曲「寿式三番叟」、三大名作の一つ「義経千本桜」など、みどころも多彩な3演目が上演されます。

12月

博多座

1月

北島三郎 最終公演
「国定忠治」



幕末の上州・信州一帯で活動した実在の侠客、国定忠治を北島三郎が演じます。今まで多くの舞台で女房役をつとめてきた星由里子が華を添え、水町レイコ、北山たけしとの親子共演も見どころのひとつ。第二部のオンステージではヒット曲の数々を惜し

2月

二月花形歌舞伎
「伊達の十役」

驚異の早替り! 染五郎が善悪男女十役に挑む!
三代目市川猿之助(現・猿翁)が昭和54年に164年ぶりに復活上演した幻の作品「伊達の十役」がついに博多座初登場! 御家横領を企む仁木弾正の物語を軸に、善悪男女の十役を四十数回の早替りや宙乗りで見せるスペクタクル大作です。今回この十役に、人気花形の市川染五郎が挑みます。仙台伊達藩が舞台の重厚な人間ドラマを、博多座の舞台機構を存分に生かし、壮大なスケールで描きます。

●キャスト＝市川染五郎ほか

博多リブレイン eeny meeny miny mo



ブルミエマルシェ

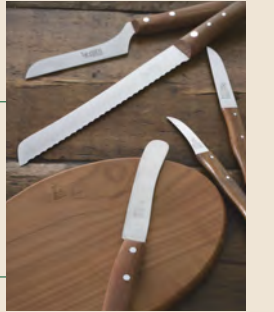
日本の伝統工芸×デザイン、ドイツ生まれの刃物職人魂、食をテーマにしたクリエイション空間!。これらは、イニミニマニモ地下2階の「ブルミエマルシェ」にあるものすべて。日々の生活を豊かで楽しいものにしてくれる選りすぐりのアイテムが、

鉄×木＝新しい伝統工芸のかたち
JYO(ジョー)

岩手の南部鉄器「及源精造」と、長野・木曽の木工「山一」がコラボ。黒く締まった鉄のボディに天然木サワラの十字木蓋をアレンジした鉄鍋。5,500円(16cm)～

1872年創業。名門のワザを食卓に
ロベルトヘアダー

ドイツ・ゾーリンゲンで130年の歴史を持つ刃物メーカー(ロベルトヘアダー)社。刃付けの工程から最後の柄付けまで全て手作業で行う唯一のメーカーのナイフたち。



愛らしいデザインとクリエイション
ラ・ココット

2007年、Laetitia BertrandとAndrea Wainerによって、カフェに料理本と少しのコレクションを置いたのが「ラ・ココット」の始まり。今後の活躍が期待されているブランド。



こんなの欲しかった!
が、満載!
マルシェ・プレート

「ブルミエマルシェ」オリジナルプレートセット(デザイナープレートセット:4pcs/バスタプレートセット:4pcs)。食卓が華やぐプレートたちはシーンにあわせて使い分けて。



ブルミエマルシェ
○場所＝イニミニマニモ地下2階
○営業＝10時半～19時半
○問＝☎092・262・8321

探すたのしみ。 贈るよろこび。

Hakata Riverain Event Schedule

一流の会場コーディネートで、お客さまのご意見・ご要望をもとに、新しいプランや会場コーディネートのご提案を今年、新たに加わった「Eolie エトワール」は、フレンチシックな家具で統一されたやわらかな空間で、ご新婦さまが「星のように輝くように」という

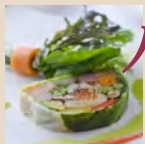


想いを込めた、女性の視点で作られた自慢の会場コーディネートです。

一流の、ルール。

一流のシェフで。

さて、式の成否を握るのが「お料理」です。ホテルオークラ福岡取締役総料理長・谷内雅夫は、1973年の入社後、1980年に渡欧。ホテルオークラ・アムステルダム・オランダ調理を4年間務め、オランダ国内の調理師コンクールにて優勝した、当ホテルが誇る才腕です。帰国後はホテルオークラ東京「ラ・ベル・エポック」シェフ、宴会調理シェフを歴任。ホテルオークラの伝統を継承する一人として、得意の基本を大切にしながらクラシックなフランス料理で、披露宴のテーブルに大輪の華を咲かせることをお約束します。



ホテルオークラ福岡取締役総料理長・谷内雅夫
「お客さまを第一に考え、美味しい料理で幸せな気持ちにしたいです。それが私の願いです」

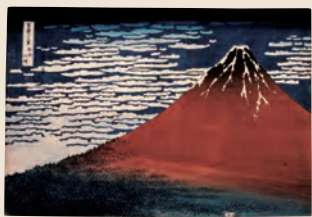


一流のルールを守り続けるホテルオークラ福岡のウェディング。「ウェディングフェア」でどうぞお確かめください。

【ウェディングフェア】
入場無料 要予約
○日程＝12/14(日)・23(火)・1/4(日)・12月(祝)
1/8(日)・22(日)
○時間＝10時～14時
○内容＝
・チャペル・神前式場見学
・会場コーディネート見学
・オリジナルコース試食
・相談会

週末、大人の アート活動へ。

特別展
北斎展
〜師と弟子たち〜
北斎は広重、歌麿、写楽など並び、江戸時代後期に活躍した浮世絵の巨匠です。日本人なら誰もが必ず目にしたことがある赤富士や波富士は現代においても圧倒的な評価と人気を博しています。本展覧会では、葛飾北斎の貴重な肉筆画から、代表作「富嶽三十六景」をはじめとする「忠臣蔵」「東海道五十三次」といったシリーズもの、役者絵、妖怪絵のほか、西洋の技術である銅版画に感銘を受けたことにより生まれた洋風画等の作品を一堂に展示します。ま



富嶽三十六景 凱風快晴/葛飾北斎

た、今回は特別に北斎に影響を受けたといわれる弟子の作品も紹介して、北斎芸術の人気の秘密に迫ります。
○会期＝1/2(金)～2/15(日)
○場所＝福岡アジア美術館
企画ギャラリー
○料金＝一般2,000円(1,000円)、
高年生8,000円(6,000円)、
小中生5,000円(3,000円)



ウダヤ・チャラン・シュレスト(ネパール)
「マハーラクシュミー」2005



FX ハルソノ(インドネシア)「声なき声」1993-94 撮影：権藤真

コレクション展
冬のおとなミュージアム
「LOVE/愛」
女神のささやき
福岡アジア美術館、福岡市美術館、福岡市博物館と同時期、同テーマでの初の共同企画展。今回のテーマは「LOVE/愛」。人肌恋しい寒い季節。この冬、あじびには、アジアのあちこちから女神さまが集まって来ます。若く美しい女神に、ふくよかな母のような女神、恐ろしい顔をした女神さまも。女神のように美しい女たちも、ビンナップ・ポスターの中からあなたを惑わすかもしれない女神も。女神がささやき声も聞かせてみませんか。

コレクション展
声なきVoice
わたしたちは社会的な生き物であり、何かを伝え、また理解することは、自身の生活を営む上で欠かせない行為です。声はそのための身近なツールですが、その声は伝わらない、発せられないという状況も存在します。本展では、ハルソノ(インドネシア)の指文字を使った「声なき声」など、声をテーマにした作品を通して、社会的な対話のほどかしさにスポットをあてます。

○会期＝12/11(木)～
3/24(火)
○場所＝福岡アジア美術館
アジアギャラリーA
○料金＝一般2,000円、
高年生5,000円、
中学生以下無料
(A・Bあわせて)
(料金)

福岡アジア 美術館

ペストリーブティックのある、幸せ。



- A 糸島豚のソーセージと焼き上げた「ソシゾン」(388円)、ドライいちじく入りの「フルーツアリオッシュ」(162円)など新作も続々登場。
- B 「タルト・オウ・ポム」(540円)。じっくりと焼き上げたりんごに、アクセントでピスタチオを飾って。
- C 「エクレール・オウ・キャラメル・サレ」(464円)。糸島産の塩入りキャラメルにアーモンドとヘーゼルナッツの食感が◎。
- D 「タルト・オウ・フリーズ」(594円)。九州産のいちごをたっぷり。タルト生地には隠したバルサミコで煮込んだいちごが、大人の味わい。



少年時代に出会った感動と幸せの記憶が原点、と語るシェフ。「大人の舌に応え、また食べたい」と愛されるお菓子をめざしています。

ペストリーブティック

福岡市博多区下川端町3-2 ホテルオークラ福岡 1F
☎092-262-3585 営業時間/8:00~20:00

*上記価格はすべて税込です。

心華やぐスイーツ・シーズンに、新たな美味スポットが注目を集めている。香り高い焼ききたてのパン、ふくよかで力強い味わいに喉ごしも人気の地ビール「博多ドラフト」…。ありそうでない、ちょっと差がつくおもしろい、なかでも「今いちばん美味しいモノ」をコンセプトに、季節に合わせて変わる、九州や全国各地の果物を使った至福のケーキやタルトが主役のここは、ホテルオークラ福岡。「当ホテルで初めてオープンする『ペストリーブティック』。作り手も気合いが入っています」と笑うのは、シェフパティシエの高田さん。国内外の受賞歴を誇り、素材と温度にこだわる丁寧な仕事で信条だ。自宅でもホテルの味をそのまま楽しめるように、いったん冷蔵庫に入れることで、さらに生地がしっとりとなめらかになるように仕上げなど、細やかな工夫も隠し味のひとつ。「特別な時だけでなく、気軽に楽しんでください」という言葉に、ぜひ甘えたい。

はかたもん。
やきもち
[Yakinochi]
榊田神社南門の榊田茶屋で気軽に食べられる「榊田のやきもち」は、博多のまち歩きにシンドル。28年間餅を焼き続ける荒牧英敏さんは、「山のぼせ」で生粋の博多っ子。「博多もんは来るものは拒まず。いつでも温かくお迎えしますよ」



博多通り紀行通りに刻まれた、博多の今昔物語り。
大浜—官内筋—
石堂橋から博多に入る
東の玄関口

石堂橋から博多の中心部へ向かう官内筋は旧唐津街道にあたり、福岡城にも続く重要な通りだったという。石堂橋のたもとには番所が置かれ、幕末に長州の内部抗争から逃れて福岡にいられた高杉晋作が、懐いた子どもを連れて町人の親子を装い、番人を欺いたというエピソードが伝わっている。

通りの東側、石堂川(御笠川)の近くには夢野久作の菩提寺「一行寺」や遊女の引い寺と呼ばれた「選擇寺」など多くのお寺が集中しているが、これは江戸時代に藩主黒田家が東側の防衛のためにお寺を移設させたことによるもの。1月にお祭りが行われるところもあるの、ぜひ訪ねてみよう。

享保元年(1716)創業という「光安青霞園茶舗」。八女茶の荒茶を仕入れて選別・火入れ・合組(ブレンド)を自社で行う。博多でも数少ない本格的なお茶の専門店だ。喫茶コーナーでは、高級な銘茶をオリジナルのお茶菓子とセットで堪能できる。

官内筋に直交する壱町筋は、終戦後の引揚援護港のひとつに指定された博多港から博多駅へと引揚者が向かうメインストリートになっていた。中国東北部や朝鮮半島からの帰国者およそ140万人がこの道を歩いていったという。

大浜地区をはじめ、博多各所の電柱に設置された歴史案内。これは大博町のハカタ・リバイバル・プランが「はかた博物館」として推進するもので、博多の町をまるごと博物館にしようという試みだ。

石堂橋から見る官内筋。「官内」という旧町名は、かつて大宰府の官人がこのあたりに館を構えていたことによるという。

官内筋から入れば駄菓子屋、裏から入れば節句人形の店と二つの顔をもつ「奥村商店」は、明治17年(1884)創業の玩具問屋。駄菓子屋にはコマやタコなど昔懐かしいおもちゃが揃い、大人の方が夢中になりそう。

石堂橋から博多の中心部へ向かう官内筋は旧唐津街道にあたり、福岡城にも続く重要な通りだったという。石堂橋のたもとには番所が置かれ、幕末に長州の内部抗争から逃れて福岡にいられた高杉晋作が、懐いた子どもを連れて町人の親子を装い、番人を欺いたというエピソードが伝わっている。

通りの東側、石堂川(御笠川)の近くには夢野久作の菩提寺「一行寺」や遊女の引い寺と呼ばれた「選擇寺」など多くのお寺が集中しているが、これは江戸時代に藩主黒田家が東側の防衛のためにお寺を移設させたことによるもの。1月にお祭りが行われるところもあるの、ぜひ訪ねてみよう。

織田信長から本能寺の茶会に招かれ、大黒天の夢のお告げによって本能寺の変から危うく逃げ帰った博多の豪商・神屋宗湛が感謝のために寄進した大黒天を祀る「本興寺」。1月10日には大黒天まつりが行われる。